

船乗りを導く、満点の星【水高記者DIARY】2月12日

地域 島根 石見

2024/2/27 (最終更新: 2024/2/27)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太朗さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



星を指さす関さん



2月12日 北緯14度44分 西経165度6分

浜田出港後25日目です。操業も残り2日になり、いよいよこの航海の終わりが見えてきました。とはいっても、まだ1カ月の猶予があり、皆この時間をどう使うべきか、真剣に悩んでいます。

今回は貴重な体験について書きます。昨日ある生徒がこんな提案をしました。「明日の早朝、皆で星を見に行かないか。新月だから星もきれいに見えると思う」。

そしてけさ4時、眠い目をこすって食堂に行くと、先客が5人いました。その後2人合流し、合計8人となかなかの人数が集まりました。専攻科生の取り計らいで、このような時間ですが、デッキに出られました。

付き添いのチョッサー（1等航海士）がガイドをしてくださり、素晴らしい星空を見ることができました。これから紹介するのは、その中でも印象的な星座です。

まず、北の空に連なる七つの星、北斗七星です。北斗七星はおおぐま座を構成する星の一部で、おおぐま座の尻尾およびその付け根付近に当たります。

北斗七星はひしゃく型の星座。その先端にある二つの星、その間隔を5倍のばすと、古くから多くの船乗りを導いてきた北極星が見つかります。ちなみに、チョッサーいわく、この方法は海技士試験で出題されることがあるそうです。

振り返って南の空を見ると、ちょうど北極星の真逆に南十字星が見えました。日本では南西諸島や小笠原諸島でないと見えない星座。あらためて遠い所に来たのだなと実感しました。

南十字星の近くには、偽十字星と言われる星座がありますが、南十字星の方がきれいな十字架となっています。船を導く美しい十字架。かつての船乗りが祈りをささげたのもうなずけます。

そして、南十字星の左側にひっくり返ったさそり座が見えました。さそり座もまた、南の目印として船乗り知られていた星座です。他にも多くの星座・星が見えたのですが、全て紹介し切れません。今回はここまでとしましょう。（浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎）